令和8年度　道徳教育の全体計画

宮城県仙台南高等学校

関係法規等

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・いじめ防止対策推進法
・学校保健安全法
・学習指導要領
・学校教育の方針と重点(宮城県)

学校教育目標

未来を担う青年として、高い知性と幅広い識見をもち、情操豊かな実践力に富む人間を育成する。「英知」「調和」「自律」の校訓に基づき、次の目標を定める。

1　知性の開発と陶冶（英知）
2　調和的人間の形成（調和）
3　自律的態度の涵養（自律）

社会の要請，地域や生徒の実態等

交通の便が良いことから、県内広域から生徒が通学している。四年制大学への進学希望者が多く、学習意欲が高い。社会性があり、道徳観も比較的身についており、場に応じた適切な行動がとれる。より強い意志をもって生きるたくましさを持つことが期待されている。また、保護者の学校教育への関心は高く、生徒・保護者と学校の良好な関係を築く土台ができている。

学年の重点目標

第1学年　基本的な生活習慣と学習習慣を確立し、卒業後の進路を見据えた最適な文理選択を行うことができること。
第2学年　規則正しい生活習慣を確立し、主体的に学ぶ意識を高めながら、協働的な活動の中でリーダーシップを養うこと。
第3学年　自己の将来を見据えた進路選択や進路実現を目指し、社会に貢献する人材としての資質を身につけること。

道徳教育の重点目標

1　個人の価値を尊重し、豊かな情操と寛容さを備え、バランスのとれた、円満な人格の形成をめざす。
2　仙台南高等学校創設の精神を受け継ぎ、地域社会と連携しながらより良き校風と伝統の創造をめざす。
3　社会の形成者であることを自覚し、わが国の一層の発展と国際社会に貢献する人間の育成を図る。

各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動における関連

国語

日本の伝統文化や近代社会に対する理解を深め、思考力、想像力を伸ばすことによって豊かな人間性を育成するとともに、目的や場に応じた言語能力を身につけ、他者を尊重する態度を育てる。

保健体育

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。また、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

数学

具体的な事象の中に隠される抽象的な本質を見抜き、それを新しい具体的な問題に活用するという数学的な活動を通して、日常に起こる様々な問題を解決するプロセスを身につける態度を養う。

家庭

安全で健康的な家庭生活の創造をめざし、家庭に関する基礎･基本的な知識･技術を習得させ「生きる力」を育む。また、家庭生活の実践を通して豊かな人格形成や、家族や地域の人々とのかかわりの中から円滑な社会生活を営み、男女が協力して主体的な生活を営むことのできる態度を育てる。

英語

外国語を通じて、言語や文化の理解を深め、相手の意見を理解し、自分の考えを表現しようというコミュニケーション能力を育み、平和な国際社会の実現に努力する態度を養う。

芸術

芸術に関する専門的な学習を通して、感性を磨き、創造的な表現と鑑賞の能力を高める。また、我が国の伝統や歴史にも理解を深め、多様な芸術的価値をとらえる能力を養うとともに、生涯にわたり芸術と生活との関わりを感じる心を育成する。

理科

日常の学習を通して、自然の真理や法則を理解し、科学的な思考力を身につけ、進んで生活を改善しようとする態度を育成する。自然の事象を実験や観察を通して捉えることで、自然に対する理解を深め、自然を愛する心情を養う。

情報

情報社会の安全とそれを支える情報技術の活用を理解し、情報社会の安全性を高めるために個人が果たす役割と責任を考えさせる。また、情報を適切に活用する上で必要とされる倫理的態度、安全に配慮する態度等の育成について、情報モラル、知的財産の保護、情報安全に対する実践的な態度を育む。

地歴・公民

人類がこれまで歩んできた歴史的・地理的過程を踏まえながら、現代社会を生き抜く上で、個人はもとより周囲との共生を図りながら協調・融和の精神を涵養する。具体的には、特に公民的分野の単元である「現代社会に生きる人間の倫理」や「現代社会と青年の生き方」を中心に、人間の尊厳と生命への畏敬についての考えを深めさせ、自立の精神及び社会連帯の精神などについて学び、考えさせる。

公共

「現代社会と青年の生き方」などを通して、自他の生命を尊重する精神，自律の精神及び社会連帯の精神などについて学び、考えさせる。

倫理

先哲の思想を参考としながら、人間としての在り方・生き方について思索を深める。特に、「現代に生きる人間の倫理」を通じて、人間の尊厳と生命への畏敬、社会と個人、自己実現と幸福について倫理的な見方を身につけさせ、他者と共に生きる自己の生き方について考えを深めさせる。

道徳教育の推進体制

道徳教育推進教師

教務部

生徒の実態を踏まえて、体験や活動を通じた学習の活性化を図り、各分掌・各教科と連携を密にしながら、道徳心の涵養と人間的な成長を促す教育環境の整備に努める。

図書部

生徒の個性や興味･関心に応じて、生徒自身が生き方や在り方等を考え、自ら学ぶ場を提供する。さらに、教科の学習と関連し、学習内容を深める場を提供し、幅広い識見の獲得を支援する。

生徒指導部

「交通安全講話」等を実施し、登下校時の交通安全意識の高揚と交通マナーの向上を図る。また、ホームルーム活動等で「いじめ防止」について生徒自身が考える時間を設定し，いじめ防止を図る。

保健厚生部

心身の健康の保持増進のため、健康の自己管理とその能力の向上をめざす。また、環境に配慮することのできる人間的な成長を促す。

進路指導部

進路実現の過程において、「団体戦」の意識を育み、互いに励まし支え合うことの尊さを理解させる。また、講話等を通して将来の社会人としての公徳心と社会連帯の自覚を高める。

総務部

様々な人間関係や状況を経験する中で、人間や物を大切にするとともに、社会の形成者、参加者としての個の確立に向けた支援に努める。

情報システム部

情報セキュリティ、情報モラルについて、生徒指導部と連携しながら推進する。ICTの急速な発展についての理解を深めさせ、対応できる力を身に付けさせるよう努める。

企画部

「総合的な探究の時間」における探究活動をとおし、自分と他者、自分と社会の関わりについて理解を深めるとともに、自ら課題を見つけ解決に向け取りくむ課題解決能力の育成を図る。

総合的な探究の時間

「課題研究」を軸として自ら課題を発見し解決していく活動を進めることで、学問や社会と自らの将来や生き方を関連づけ、社会における自分の役割について理解を深めるとともに、よりよい社会の形成者となるための自己の在り方や生き方を考える。

HR活動

学校生活における最も基礎的集団であるHRの年間活動を通し、自己実現、周囲の人間との融和を図りながら、集団や社会の一員としてあるべき望ましい人間関係が育めるよう自主的・実践的な能力を養う。

生徒指導等における関連

生徒自身が規律・規範の意義を理解し遵守するよう、自主性の尊重及び「説得と納得」の相互理解を基本に、挨拶の励行や遅刻の防止等の生活行動規範の向上・確立に努める。

家庭・地域との連携（総務）

家庭生活や登下校等の日常生活を通して、多角的な視点をもった社会の形成者としての自覚と自立を図る。そのため、学校行事や学校公開など、PTA諸活動や地域社会との交流の機会を設けるよう努める。

異校種との連携（教務）

中学校訪問や高校説明会を通して、本校の教育方針や学校の情報を発信するとともに、中学校からの情報収集に努めて、発達段階に応じた役割分担を明確にし、実態に即した教育活動の改善に努めていく。また、出前授業等に参加し、異校種との交流を活発化する。

キャリア教育的側面からの連携（進路）

地域の教育資源を活用したキャリア教育の実践を通して、研究者や社会人と直に接して話を聞くことで、学問や社会についての理解を深め、自らの進路、社会での他者との関わり、自己実現等について考える機会を設けるよう努める。

学校環境の充実

健康で安全な教育活動が行われるよう施設・設備等、教育環境の整備を行う。また、清掃の徹底や、自然に触れることができるよう草木の管理等を適切に行い、公共心や自然を愛する心を育む。